



昴の今日と明日Ⅱ

No.64 May23, 2014 (編集・発行)昴☆共生社会研究所

各事業所長等の抱負(4)

平成 26 年度グループホーム

GH 事務局 主任 五十嵐 貴幸

今年度のグループホーム事務局の課題は、『楽しむ!』をテーマにした日中支援の充実「ユニコーポ小川の引越し」「入居者の高齢化への対応」「消防法改正によるスプリンクラーの設置準備」「運営モデルの再考」等々と多様である。

『楽しむ』をテーマとした日中・休日支援の充実』は、各ホーム単位での行事や旅行等の企画に加えて、希望される方には「個人単位」での外出や旅行等の機会も増やしていきたいと考えている。また、最近では、相談支援事業所や就労支援センター等と役割分担をしながら、チームで支える仕組みができつつある。いささか、語弊があるかもしれないが、「ホーム世話人＝何でもする人」という形になるのではなく、「世話人」という立場に求められているものをもっと明確にしていくことも課題であると感じている。

また、この数年、課題となっているユニコーポ小川の移転については、建築基準法や消防法等との関係もあり、紆余曲折しながら進めている状況である。平成 26 年度中に引越しを完了するという期限もあり最優先事項として取り組まなければならない。

最後に、現在の昴の運営しているホームには、通所事業所(昴内や他法人)に通う方、一般就労されている方、医療的ケアが必要な方、高齢になり老後のことを考える方等、様々なライフステージの方が利用されている。そのため、職員に求められる知識や技術も多岐にわたってきている。「ホームを利用しながら、その人らしく生きる」というテーマと向き合いながら、職員間の議論も研究も深めていきたい。

今年のクリニック相談室

主任 渡辺 久美子

リハビリテーションは、本来、「全人間的復権」を意味する概念で、単に機能訓練ではなく、医療、教育、職業などのさまざまな分野から総合的な援助を行っていくことが含まれます。障害を持つ方が社会の中で日常生活をスムーズに送れるように環境や社会に働きかけるといこともリハビリテーションの一部だとされており、ハロークリニックでは、障害を持つ方に対する個別リハだけではなく、保育園や学校などへの巡回相談、家族の相談、他機関との連携なども積極的に行ってきました。

そのような活動の一つとして、今年度は、家族向けのプログラムを充実させていく予定です。昨年度までは各部門(S T、O T、心理)でそれぞれ行っていた親向けの学習会を、

今年度は「ペアレント★プログラム」として統合し、継続した支援の中に位置付けていくことになりました。単に“子どもの能力を伸ばす”ためのリハビリに終始せず、家族を中心とした周囲の人へのアプローチにも力を入れることで、障害や苦手さがあっても自然な形で生活を送れるようにサポートしていきたいと考えています。

また、東松山市自立支援協議会で行われる予定のモデル巡回事業への積極的関与や、児童のレクリエーション支援の開拓などにも力を入れていきます。

ファミリーサポートセンター昴

所長 内山洋史

FSC 昴は、現在、居宅介護(身体・家事)、行動援護、重度訪問介護、同行援護、移動支援、訪問介護(介護保険)、生活サポート事業(有償運送含む)、ショートステイ(二ヶ所)等の多彩なサービスを行っています。

上記にあげた幾つものサービスは、利用される方々の暮らしへの思いを活かす為の手段でしかありません。「こんな生活を送りたい」「こんな事してみたい」という思いの中で活かされるものだと考えます。

利用される方々がどのような思いでサービスを希望され、活用されているかを大事にした仕事をする為にもご本人や相談支援事業所との連携を密にとりながら、必要に応じて自立支援協議会も活用しつつ今後もサービスを提供して行きたいと思えます。

また、これまで「こんな生活を送ってみたい」という思いに必ずしも応えきれない医療的ケアが必要な方へのサービスについても、喀痰吸引等が一定の研修を経た介護職にも可能になった制度改正を利用して少しずつ広げて行きたいと考えています。



かうんと5 presents

WAH WAH ART in いんくる堂

May 31(Sat.) ~ Jun. 8(Sun.)

10:00 a.m. — 6:00 p.m.

かうんと5の作家だけでなく県内各地からの招待あるいは応募作品も数多く展示します。

合わせて、グッズの記念販売も行います。

(例) T シャツ 通常 2800 円⇒2600 円 (2200 円)

クリアファイル 通常 250 円⇒230 円 (200 円)

() 内はメンバーズ(会員)特典

皆様のご来場との入会をお待ちしています。